米工 MAKERS

米工通信　第８６号
令和４年１月１２日
鳥取県立米子工業高等学校

# 啓成小学校パソコン プログラミング交流

情報電子科３年生が啓成小学校６年生の児童たちにスクラッチのプログラミングを通して交流事業を行いました。例年、啓成小学校３年生の児童たちとはパソコンの基本的な使い方について情報電子科の生徒が教える交流を行っています。啓成小学校には、いち早くクロムブックが一人一台支給されており、よく使いこなせている児童も見られました。情報電子科の高校生たちも驚いた様子を隠せなかったみたいです。

情報電子科の生徒はとまどいながらも交流をしていました。始まる前はどう接していいか悩んでいましたが、いざ始まると楽しそうに交流をすることができました。

交流した高校生は普段、スクラッチを使ってゲーム製作を行っているメンバーでしたが、教えることによって自分自身のプログラミングのスキルを高めているように感じました。この経験を生かして課題研究で製作中のゲームがより魅力的な作品に仕上がることを期待しています。

啓成小学校のみなさんからはお礼の言葉をたくさんいただきました。これからもこの事業が末永く続くことを祈っています。

情報電子科　平尾典久

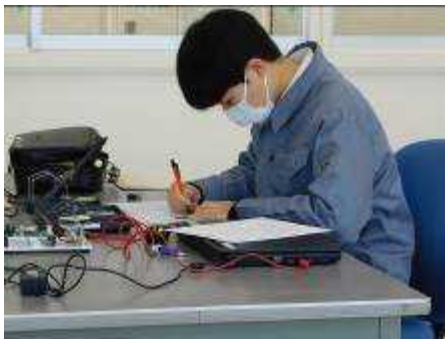
# 米工 MAKERS

米工通信　第８７号
令和４年１月１４日
鳥取県立米子工業高等学校
担当者名：坂田祐将

12 月に「高校生ものづくりコンテスト電子回路組立部門」の鳥取県大会が行われました。

この大会は、150 分という決められた時間の中で、支給された部品を用いて入力回路の設計・製作を行い、制御プログラムを作成し、出力回路（ステッピングモータ、DC モータ、7 セグメント LED、圧電サウンダ）の各制御を行う競技です。日頃の学習や練習の成果を競い合う内容となっています。

本校情報電子科と鳥取工業高校からそれぞれ 2 名参加し大会が行われました。その様子をお伝えします。



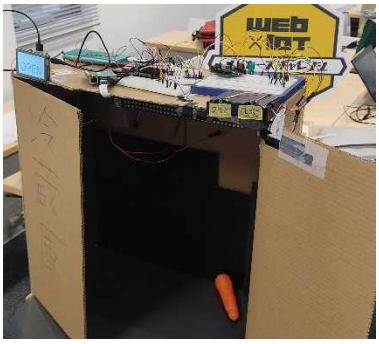
入力回路の設計の様子

入力回路の製作の様子

プログラミングの様子

はんだ付けの作業はやり直しがきかないためとても集中力が必要となります。プログラムは、C 言語で組みますが、どうすれば制御できるのかきちんと理解していないと動かせないため日頃の学習の成果が試されます。また、競技 150 分間は他者の手を一切借りず、自分のスキルだけで課題をクリアしなければなりません。コンテストに取り組むと、情報電子科の学習内容の多くを網羅できるようになります。

また、コンテストに参加していた本校情報電子科の３年生が「Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS in 鳥取」に参加しました。こちらは、標準技術やオープンソースソフトウェアを活用しチーム毎に IoT 作品を製作するハッカソン(専門科が集まってアプリやサービスを開発するイベント)です。本校の生徒が参加したチームでは、小学生から高専生までの 5 人でチームを組み、冷蔵庫の内容物と賞味期限を画像認識で把握し、スマホ等で確認が出来るシステムを開発しました。このようなイベントを通じて今話題の知識の学習や、外部組織との交流を深めていきたいと思います。



米工 MAKERS

米工通信　第88号
令和４年1月17日
鳥取県立米子工業高等学校

新しい年が始まって半月が過ぎました。2022年、令和４年という表現には慣れましたか？学校内では新春を飾る花や縁起物に新しい年を感じています。

# 校内に春を見つけました

年末年始には雪が舞いましたね。米子市内ではそれほどの積雪ではなかったかもしれませんが、郡部ではどうだったのでしょうか。私が東部の実家に帰った際には写真のような積雪でした。車を掘り出すのに一苦労です。数台の四輪駆動の車もタイヤが浮いて身動き不能になっていました。

さて、雪の降る正月にはこの歌が浮かんできます。

新(あらた)しき　年の初めの　初春の　今日降る雪の　いや重(し)け吉事(よごと)

日本最古の歌集とさる万葉集の最後に詠まれた大伴家持の歌です。これは「新しい年のはじめにあたって、このようなきれいな雪が降りつづいている。今年もこのように美しい良い年でありますように」という意味です。大伴家持は、因幡国(鳥取県東部)の長官でした。この歌が詠まれたのは天平宝字３年(西暦759年)の正月、因幡国の庁舎で開催された新年の祝賀の会と言われています。昔は旧暦を用いていますから、現在の新暦では２月２日の立春になります。

雨の因幡に風の伯耆と昔から言われますが、東部地区は雨、雪が多く、正月を雪景色で迎えることはよくあることです。そして、この歌も新年の歌としてみなさんがよく知っています。

米工の校内でもこんな新年の景色を見つけました。なんとも気持ちが穏やかになり、新しい時間が始まったことを感じさせてくれます。お花を生けてくださった茶華道部のみなさん、お花を縁起物のグッズで引き立たせてくださった事務長さん、ありがとうございます。

今年も米工には良い年がやってくることと感じました。

生徒のみなさんは、この写真の場所を見つけましたか？

校長　松川明義

米工 MAKERS

米工通信　第８９号
令和４年１月１９日
鳥取県立米子工業高等学校
電気科　石川　雄一

# 難関国家資格（電験三種）に合格しました

本校電気科３年の森田夢空さんが、難関の国家資格「第三種電気主任技術者」（電験三種）に合格しました。本校では２年ぶりの快挙で、本年度の全国の高校生の合格は２９人でした。（下記参照）

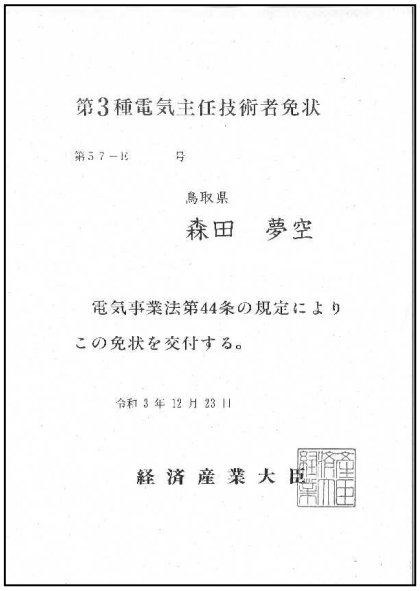
電験三種は電圧５万ボルト未満の電気施設の保安監督をするために必要な資格で、社会人を含めての合格率が毎年一桁の難関な国家資格です。電気工事の安全性や回路の計算を行う筆記試験で「理論」「電力」「機械」「法規」の４科目を３年以内に合格することで取得できます。本年度の合格率は、１１．５％でした。（令和元年９．３％、令和２年９．８％）

森田さんは、１年時に初めて受験しましたが、４科目とも不合格。その悔しさをばねに猛勉強し２年時には「理論」、３年時には「電力」「機械」「法規」の３科目を合格しました。本年度は、昨年の８月に受験し、１０月に合格発表、１月に念願の免状を手にしました。森田さんは、電験三種以外にも第一種電気工事士など多くの有益な資格を取得しています。

西日本旅客鉄道株式会社への就職が決まっている森田さんは、「資格を仕事に生かしたい」と意欲を見せています。

**全国高校生合格者ランキング【2021 年 11 月集計、電気書院調べ】**

| 順位 | 学 校 名 | 合格者数 | （率） |
|---|---|---|---|
| 1 | 三重県立松阪工業高等学校 | 8 | (40.0) |
| 2 | 長崎県立長崎工業高等学校 | 4 | (28.6) |
| 3 | 徳島県立つるぎ高等学校 | 3 | (1.1) |
| 4 | 大阪市立都島工業高等学校 | 2 | (7.1) |
| 4 | 香川県立高松工芸高等学校 | 2 | (9.5) |
| 4 | 静岡県立浜松工業高等学校 | 2 | (1.1) |
| 4 | 山梨県立甲府工業高等学校 | 2 | (40.0) |
| 8 | 高知県立宿毛工業高等学校 | 1 | (33.3) |
| 8 | 京都市立京都工学院高等学校 | 1 | (25.0) |
| 8 | 愛知県立半田工科高等学校 | 1 | (20.0) |
| 8 | 京都府立工業高等学校 | 1 | (20.0) |
| 8 | 鳥取県立米子工業高等学校 | 1 | (20.0) |
| 8 | 福島県立郡山北工業高等学校 | 1 | (20.0) |



第３種電気主任技術者免状

第５７－１５　　号

鳥取県
森田　夢空

電気事業法第44条の規定により
この免状を交付する。

令和３年 12 月 23 日

経 済 産 業 大 臣

米工 MAKERS

米工通信　　第９０号
令和４年　１月２１日
鳥取県立米子工業高等学校
人権教育部

**オミクロン株を始めとする新型コロナウイルス感染症が、鳥取県内、特に西部地区において猛威を振るっています。生徒・保護者・地域の皆さんも、不安な日々を過ごしておられることと思います。基本的な感染症対策を徹底することは、各方面でも周知されているところですが、人の感じる不安や、ときには善意からくる言動が、かえって他者を苦しめる結果につながることもあります。この機会に今一度自分自身の言動を振り返ってみましょう。**

# ～コロナ禍のなかで～

**報道でもすでに出ていますが、西部の複数の学校現場において、関係者の感染が確認されており、いわゆる「第６波」と目される感染拡大は、未だに収束の兆しが見えません。感染された方や、そのご家族の方は、大変なご不安とご心配のなかで日々を過ごされていることと思います。心からお見舞い申し上げるとともに、一刻も早いご回復をお祈りしております。**

**そのような状況下で、気になることも出てきました。**

**各校で生徒や保護者の皆さんへの情報提供や連絡をとるなかで、「感染したのは〇〇部の人って本当ですか？」「△△クラスの××年生って聞いたんですけど･･･」と、事実とは全く異なる、根拠のない情報や噂が一部で広まっていることが分かったのです。一体どこからそのような情報が出てきたのかは分かりませんが、すでに複数の事例が報告されています。**

**当然のことではありますが、個人情報保護や人権尊重の観点から、感染した方の情報等は基本的には非公開で、断片的なものとなります。その断片的な情報を、想像と憶測でつなぎ合わせ、根拠もなく思い込みで他者に伝えることは、厳しい言い方になりますが、デマの拡散に他なりません。感染のリスクが高まるなかで、明確な情報を求めたくなる気持ちはもちろん理解出来ますが、デマの拡散は結果として誰かを傷つけますので、絶対にやめましょう。**

**改めて、みなさんに気をつけて欲しいこと、考えてみて欲しいことをまとめてみます。**

①不安なのはみな同じ。不安な気持ちを誰かにぶつけるのではなく、「不安だよね」と寄り沿う姿勢を。
②考え方や、出来ることは人によって様々。「これが正しいのになぜやらないのか」と他者を責めるのではなく、その人や周囲にとって最適な方法や手段を、落ち着いて考えよう。
③誰もが感染するリスクを負っている。感染してしまった人を攻撃する人は、自分も感染したときには攻撃されることを受け入れているということ。あなたにとってそれが良いことですか？
④個人情報保護の観点から、公表される情報は当然制限される。勝手な憶測や思い込みで、誹謗中傷や、誤った情報の発信者にならないようにする。

**新型コロナウイルスとの闘いは、まだしばらく続くかもしれません。様々な場面で、多くの人が必死の努力を続けています。時には誰かを責めたい気持ちになることがあるかもしれません。ですが、あなたが誰かを責めても、コロナが無くなるわけではないのです。不安に負けそうになっても、少し立ち止まって、感情に安易に流された言動は避けたいものです。**

**人権教育部主任　吉村**